

ETCカード番号を活用した
しまなみ海道
交通動向・利用実態分析結果

< 詳細版 >

令和5年2月

愛媛県今治市

1. 概要

1.1 分析概要

(1) 背景

- しまなみ海道沿線の島しょ部の方(以下、「島民」という。)は、日常的に生活道路としてしまなみ海道を利用している。
- しまなみ海道は、本州四国連絡高速道路株式会社(以下、「本四高速」という。)管理の高速道路であり、利用には、通行料金を支払う必要がある。
- 島民の方は、生活道路であるしまなみ海道の利用が必須であることから、陸地部在住者と比較し、通行料金の負担感が大きいと考えられている。
- 一方、島民の方がどの程度しまなみ海道を利用しているかは、定量的に把握できていない状況である。

(2) 目的

- しまなみ海道利用車両の交通動向を定量的に整理し、ETCカード提供者(島民)の交通特性を確認する。
- 特に、ETCカード提供者(島民)に関しては、利用状況(利用回数・利用金額)や滞在情報(滞在先・滞在時間)を整理し、その傾向を確認する。
- しまなみ海道沿線地域の世帯数や人口の推移を確認する。

(3) 分析方法

- 島民にアンケートを実施し、任意提出のあったETCカード番号を活用し、本四高速(株)ご協力のもと、各種交通量等データを抽出・提供頂いた(表1)。
- 提供頂いた各種交通量等データを集計し、しまなみ海道の交通動向や利用状況、滞在時間を整理し分析を行った。
- しまなみ海道沿線地域の世帯数や人口の推移は、今治市の統計データを用いて分析を行った。

表1 提供頂いた各種交通量等データ一覧(※個人情報が含まれていない交通量データ)

項番	各種交通量等データ	データ概要	本四利用車両データ	
			ETCカード提供者	その他(※)
1	月別世帯別ICペア別利用回数	島民(世帯)の年月におけるICペア(入口IC→出口IC)利用回数を車種別に格納	○	○
2	世帯別利用回数・利用金額	島民(世帯)の年月や各週における利用回数、通行料金(還元前、還元後)を格納	○	
3	日別時間帯別IC出入交通量	日別・出入時間帯別・車種別・島民区分別のICペア(入口IC→出口IC)交通量を格納	○	○
4	世帯カード別日別滞在场所・時間	島民(世帯)別・ETCカード別の滞在场所・時間の情報を格納	○	

(※)その他とは、ETCカード提供者(島民)以外の車両のことで、ETCカード未提供の島民の車両も含まれる。

(4) データ上の留意点

- 島民8,616世帯(2022年3月31日現在)のうち、7,321世帯にアンケートを配布したところ、約6割にあたる4,205世帯からの回答があった(表2)。このうち、ETCカード情報の提出は、3,892件(総世帯数の45.2%)であり、これらの交通量等データ(ETCカード提供者)を元に分析を行った。
- 一方、交通量等データ(その他)には、ETCカード情報未提出の島民の交通情報も含まれているため、比較の際には、その点を留意する必要がある。

表2 アンケート配布・回収状況

		全体
総世帯数(2022年3月31日現在)		8,616 世帯
アンケート配布	世帯数	7,321 世帯
	配布率	85.0 %
アンケート回収	回収数	4,205 世帯
	回収率	57.4 %
ETCカード情報提出世帯数		3,892 世帯 (総世帯数の45.2%)

1. 概要

1.2 分析期間

- 本四高速より提供頂いた交通量等データの期間は、2019年1月から2022年3月の3年3ヶ月間。
- 本データをもとに、交通量の経年変化を確認するため、交通量等データを年、四半期、月単位で比較した。
- その他、新型コロナウイルスの影響分析や休日割引提供除外期間分析(2021年のみ休日割引提供除外期間)を実施した。

西暦 和暦 月		2019年 令和元年(平成31年)												2020年 令和2年												2021年 令和3年												2022年 令和4年											
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3									
データ提供期間 (交通量等データ抽出対象期間)		2019.1～2022.3(3年3ヶ月)																																															
新型コロナウイルス 関連時期等	新型コロナウイルス感染症罹患患者確認 (ダイヤモンド・プリンセス号)	●2/1～																																															
	政府が発令した 布告(愛媛県)	緊急事態宣言 まん延防止等重点措置 4/16～5/14																																															
	感染警戒レベル (愛媛県)	3/6～4/15 4/25～5/22 8/20～9/12 4/8～5/31 8/11～9/30																																															
	感染警戒期(特別警戒)																																																
	感染警戒期																																																
	感染縮小期																																																
	観光需要 喚起事業	GOTOトラベル																																															
休日割引適用除外期間		本資料の 主な集計期間																																															
分析期間	経年変化分析	年比較(平休別) 四半期比較(平休別) 月比較(平休別) 代表月比較(平休別)																																															
		2019年												2020年												2021年												2022年											
		2019年 第1四半期 2019年 第2四半期 2019年 第3四半期 2019年 第4四半期												2020年 第1四半期 2020年 第2四半期 2020年 第3四半期 2020年 第4四半期												2021年 第1四半期 2021年 第2四半期 2021年 第3四半期 2021年 第4四半期												2022年 第1四半期											
		○ ○																																															

1. 概要

1.3 主な分析項目

●世帯数・人口の整理 ※今治市の統計データにより分析

- 世帯数、人口を整理
- 町別、日本人・外国人別

●地域間交通量の整理 ※本四高速の交通量等データにより分析

- 本州、島しょ部(広島県)、島しょ部(今治市)、四国といった地域間の交通量を整理
- 区分別
 - ・ ETCカード番号提供者(島民)
 - ・ その他(※ETCカード番号未提供の方含む)
- 平日・休日別、車種別
- 経年変化(年別、四半期別)

●利用回数・通行料金の整理 ※本四高速の交通量等データにより分析(ETCカード提供者のデータのみ)

- 島民の月あたり利用回数や通行料金を整理(島しょ部全体)
- 経年変化(年別)

●滞在回数・滞在時間・滞在場所の整理 ※本四高速の交通量等データにより分析(ETCカード提供者のデータのみ)

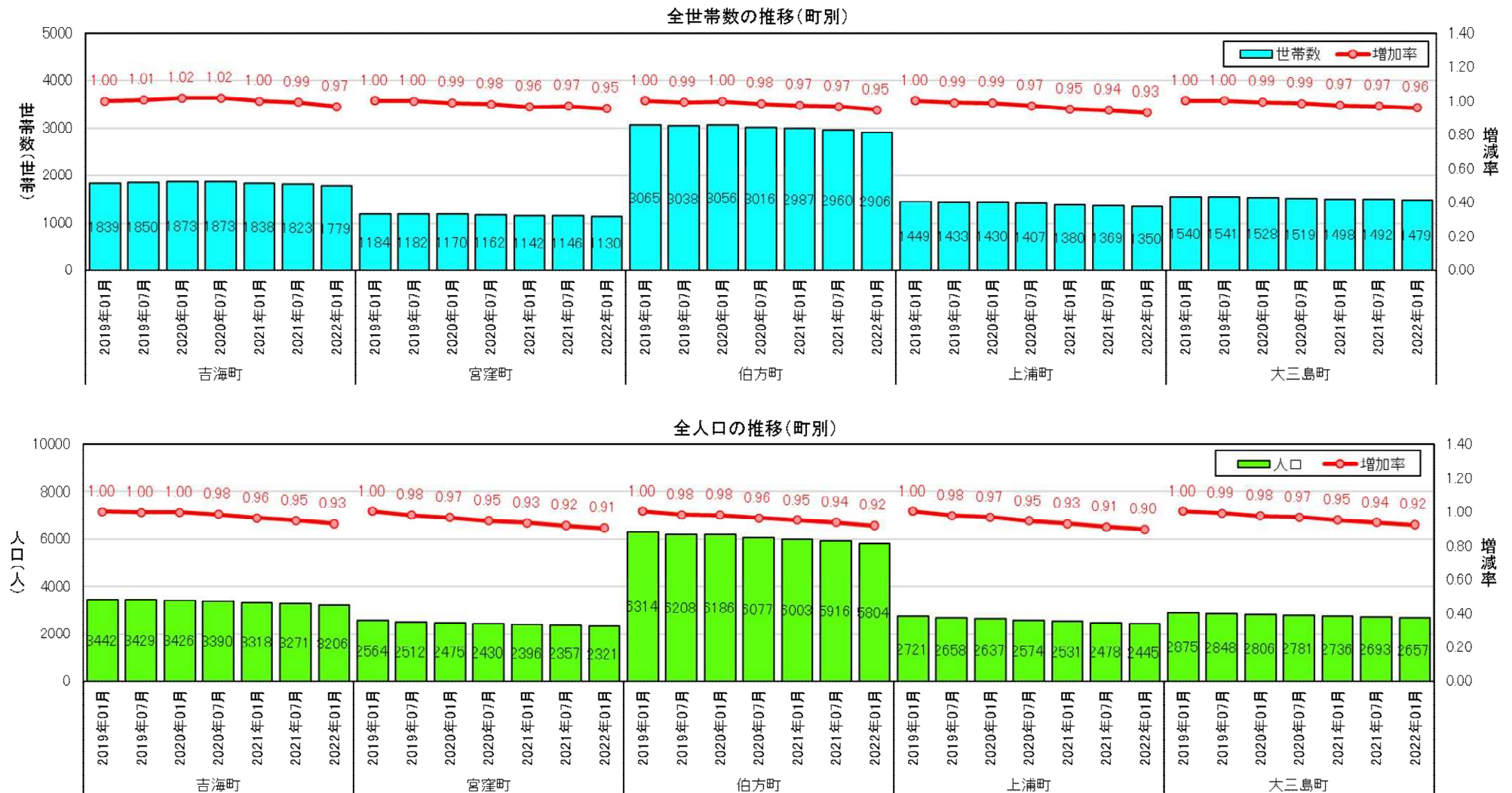
- 各町ごとの滞在先割合(3ヶ年平均)を整理
- 町別、平日・休日別

2. 世帯数・人口の推移(1月・7月) ※今治市の統計データにより分析

2.1 全世帯・全人口

● 島民の世帯数・人口の推移は、いずれの町においても減少傾向を示している。

- 吉海町 : [世帯数]2020年7月まで増加し、以降は減少傾向。 [人口]2020年1月まで横ばいで、以降は減少傾向。
- 宮窪町 : [世帯数]2019年7月までは横ばいで、以降は減少傾向。 [人口]減少傾向。
- 伯方町 : [世帯数]2020年1月までは横ばいで、以降は減少傾向。 [人口]減少傾向。
- 上浦町 : [世帯数]2020年1月までは横ばいで、以降は減少傾向。 [人口]減少傾向。
- 大三島町 : [世帯数]2019年7月までは横ばいで、以降は減少傾向。 [人口]減少傾向。



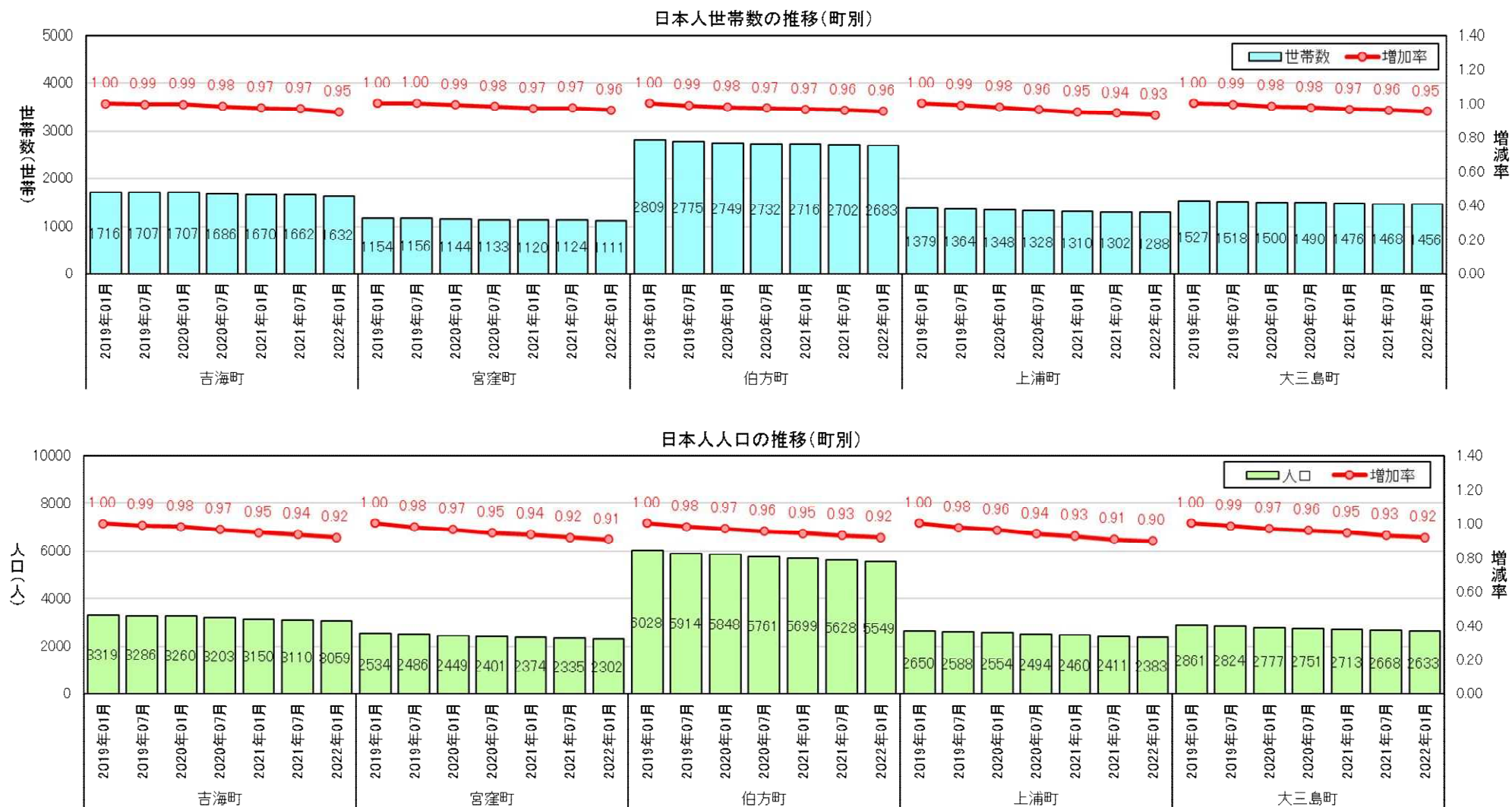
※増減率は、2019年1月の調査を基準に算出 5

2. 世帯数・人口の推移(1月・7月) ※今治市の統計データにより分析

2.2 日本人世帯・日本人人口

● 島民(日本人)の世帯数・人口の推移は、いずれの町においても減少傾向を示している。

- 吉海町 : [世帯数]2020年1月までは横ばいで、以降は減少傾向。 [人口]減少傾向。
- 宮窪町 : [世帯数]2019年7月までは横ばいで、以降は減少傾向。 [人口]減少傾向。
- 伯方町 : [世帯数・人口]減少傾向。
- 上浦町 : [世帯数・人口]減少傾向。
- 大三島町 : [世帯数・人口]減少傾向。



※増減率は、2019年1月の調査を基準に算出

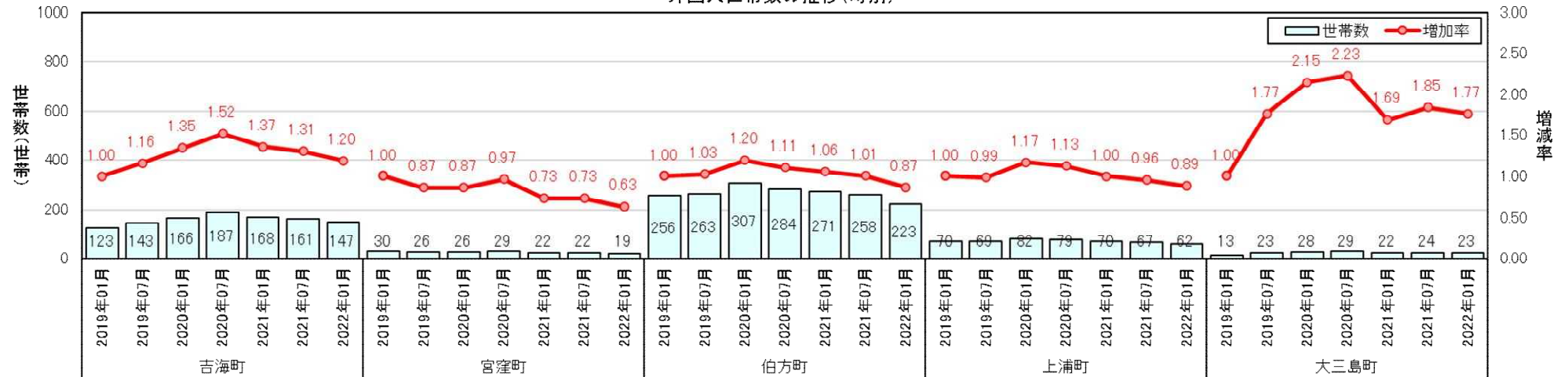
2. 世帯数・人口の推移(1月・7月) ※今治市の統計データにより分析

2.3 外国人世帯・外国人人口

● 島民(外国人)の世帯数・人口の推移は、町ごとに傾向が異なる。なお、伯方町以外は、大半が一人世帯である。

- 吉海町 : [世帯数・人口]2020年7月までは増加傾向で、以降は減少傾向。
- 宮窪町 : [世帯数・人口]2019年7月に減少するも、2020年7月に一時的に増加し、以降は減少傾向。
- 伯方町 : [世帯数・人口]2020年1月までは増加傾向で、以降は減少傾向。
- 上浦町 : [世帯数・人口]2020年7月までは増加傾向で、以降は減少傾向。
- 大三島町 : [世帯数・人口]2020年7月までは増加傾向で、2021年1月に減少傾向に転じ、以降は横ばい傾向。

外国人世帯数の推移(町別)



外国人人口の推移(町別)



※増減率は、2019年1月の調査を基準に算出 7

3. 地域間交通量の推移 ※本四高速の交通量等データにより分析

3.1 分析概要

- IC出入情報に関する交通量データ(日別時間帯別IC出入交通量)をもとに、以下の内容を踏まえて地域間交通量(日あたり走行台数)を集計し、経年変化を確認した。
 - 平休区分 : 日付の情報をもとに、平日(土日祝日以外)と休日(土日祝日)に区分する。
 - 車種区分 : 料金車種の情報をもとに、小型車(軽自動車等、普通車)、大型車(中型車、大型車、特大車)に区分する。
 - その他 : 入口IC、出口ICの組合せが適正であるデータのみを集計対象とする。
- 入口IC・出口ICをもとに、「本州」「島しょ部(広島県)」「島しょ部(今治市)」「四国」といった地域に区分するとともに、島民の交通に関連する以下の地域間交通量を整理対象とした。
 - 四国ー島しょ部(今治市)間
 - 島しょ部(今治市)内々
 - 島しょ部(今治市)ー島しょ部(広島県)
 - 島しょ部(今治市)ー本州



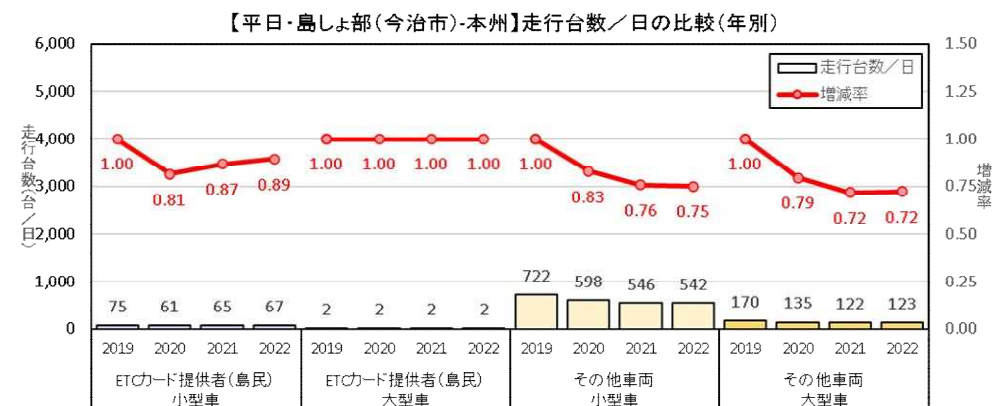
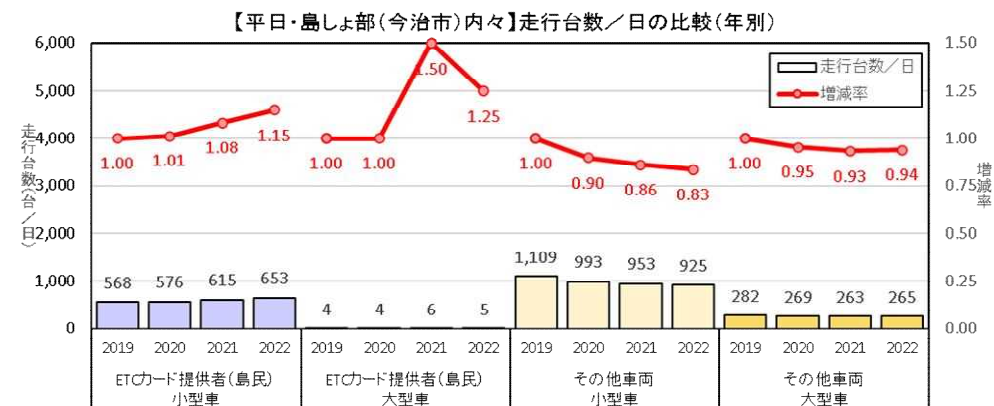
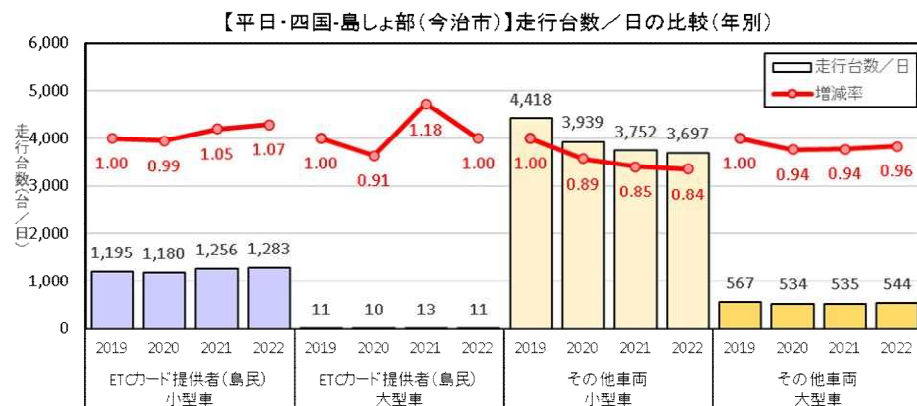
※向島本線を「本州」に区分

出典：国土地理院地図を元に作成

3. 地域間交通量の推移 ※本四高速の交通量等データにより分析

3.2 地域間交通量(平日・年比較)

- ETCカード提供者(島民)・小型車の走行台数/日は、「四国－島しょ部(今治市)」間の交通が最も多い。
 - 四国－島しょ部(今治市)間 : 約1,200台/日(1,180～1,283台/日)
 - 島しょ部(今治市)内々交通 : 約600台/日(568～653台/日)
 - 島しょ部(今治市)－島しょ部(広島県)間 : 約130台/日(128～137台/日)
 - 島しょ部(今治市)－本州間 : 約70台/日(61～75台/日)
- ETCカード提供者(島民)・小型車の走行台数/日の推移は、交通量が多い地域間において、いずれも増加傾向を示している。
 - 四国－島しょ部(今治市)間 : 2020年に若干減少するも、2021年以降は、増加傾向。
 - 島しょ部(今治市)内々交通 : 増加傾向。
 - 島しょ部(今治市)－島しょ部(広島県)間 : 2021年まで増加傾向を示すも、2022年に減少傾向を示し、2019年並みの走行台数となる。
 - 島しょ部(今治市)－本州間 : 2020年に減少傾向を示すも、以降は増加傾向。
- その他車両・小型車の走行台数/日の推移は、減少傾向を示している。
- その他車両・大型車の走行台数/日の推移は、2021年までは減少傾向、以降は横ばい傾向。

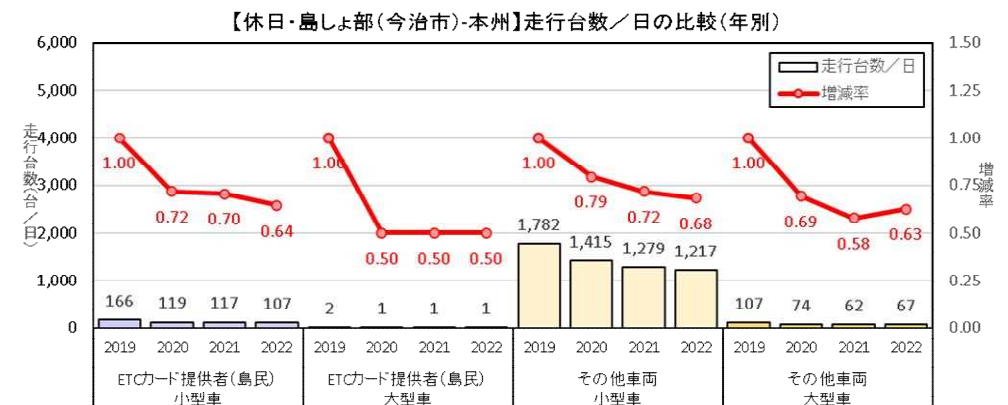
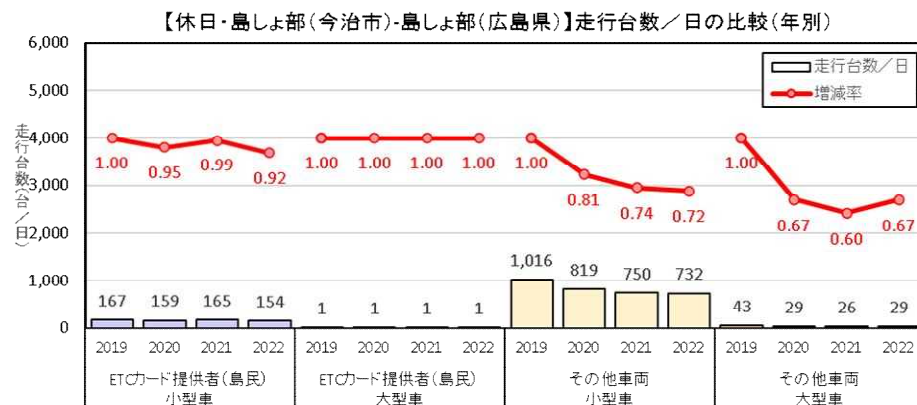
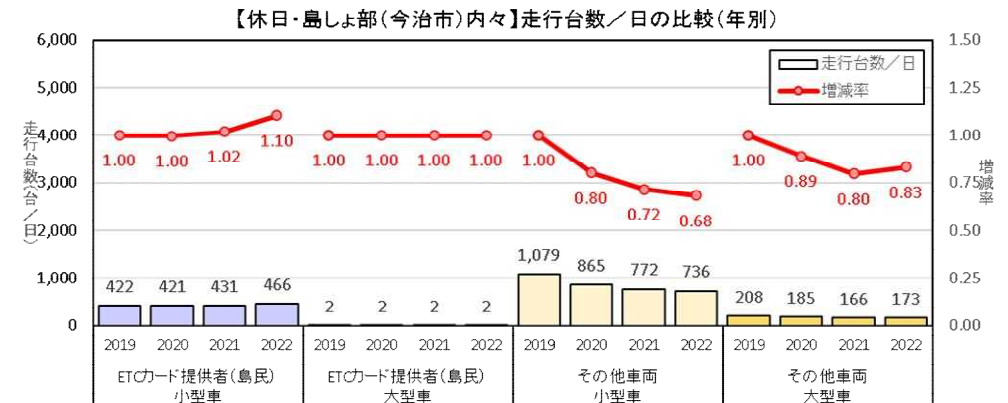


※増減率は、2019年の走行台数/日を基準に算出

3. 地域間交通量の推移 ※本四高速の交通量等データにより分析

3.3 地域間交通量(休日・年比較)

- ETCカード提供者(島民)・小型車の走行台数/日は、「四国ー島しょ部(今治市)」間の交通が最も多い。
 - 四国ー島しょ部(今治市)間 : 約1,300 台/日(1,281~1,398台/日)
 - 島しょ部(今治市)内々交通 : 約450台/日(421~466台/日)
 - 島しょ部(今治市)ー島しょ部(広島県)間 : 約160台/日(154~167台/日)
 - 島しょ部(今治市)ー本州間 : 約110台/日(107~166台/日)
- ETCカード提供者(島民)・小型車の走行台数/日の推移は、地域間によって傾向が異なる。
 - 四国ー島しょ部(今治市)間 : 2020年に減少するも、2021年に増加に転じ、以降は横ばい傾向。
 - 島しょ部(今治市)内々交通 : 増加傾向。
 - 島しょ部(今治市)ー島しょ部(広島県)間 : 2020年に減少し、2021年に増加に転じるも、2022年に再度減少傾向。
 - 島しょ部(今治市)ー本州間 : 減少傾向。
- その他車両・小型車の走行台数/日の推移は、減少傾向を示している。なお、走行台数の減少幅(増減率)は、平日よりも大きい。
- その他車両・大型車の走行台数/日の推移は、2021年までは減少傾向、以降は横ばい傾向。なお、走行台数の減少幅は、平日よりも大きい。



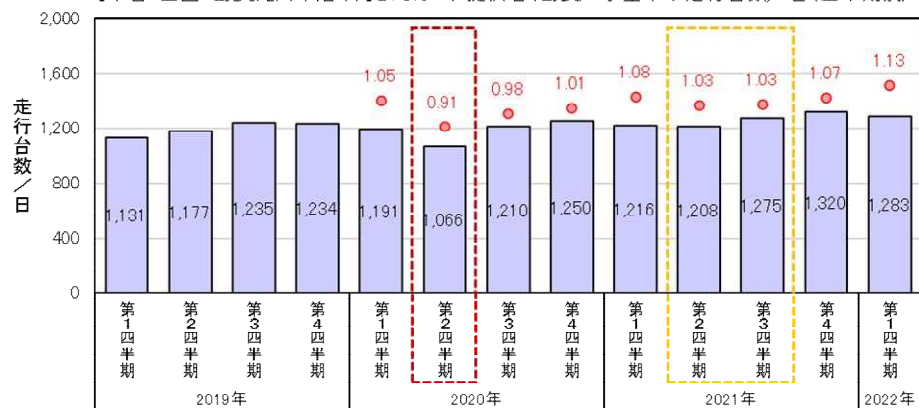
※増減率は、2019年の走行台数/日を基準に算出 10

3. 地域間交通量の推移 ※本四高速の交通量等データにより分析

3.4 ETCカード提供者(島民)・小型車における地域間交通量(平日・四半期比較)

- ETCカード提供者(島民)・小型車の平日・四半期別の走行台数/日は、四国一島しょ部(今治市)間の交通が最も多く、約1,200台/日(1,066～1,320台/日)である。また、その他の地域間交通は、島しょ部(今治市)内々交通が約600台/日(555～653台/日)、島しょ部(今治市)ー島しょ部(広島)間が約100台/日(116～143台/日)、島しょ部(今治市)ー本州間が約70台/日(46～76台/日)である。
- 「四国一島しょ部(今治市)」「島しょ部(今治市)ー島しょ部(広島県)」「島しょ部(今治市)ー本州」の地域間交通量において、同様の傾向となる。
 - コロナ禍の影響で、2020年第2四半期より減少傾向となるも、2020年第3四半期には増加傾向に転じる。
 - 2021年第2四半期に再度減少傾向となるも、2021年第3四半期には増加傾向に転じる。
- 「島しょ部(今治市)内々」の交通量は、コロナ禍の影響に関係なく、増加傾向を示している。
- いずれの地域間交通量も、コロナ禍の影響で一時的に交通量が減少するも、次期間には回復しており、2019年同四半期以上の走行台数/日となっている(一部地域間は、2019年同四半期並みの走行台数/日)。

【平日：四国一島しょ部(今治市)】ETCカード提供者(島民)・小型車の走行台数/日(四半期別)

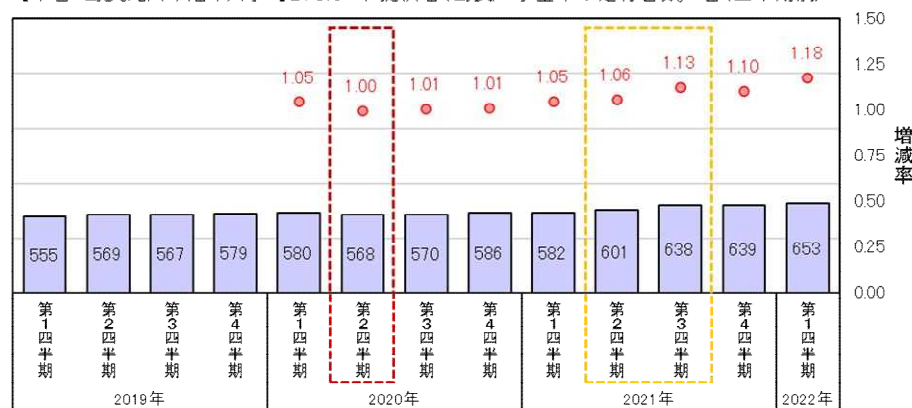


緊急事態宣言期間

まん延防止等重点措置期間

走行台数/日 増減率

【平日：島しょ部(今治市)内々】ETCカード提供者(島民)・小型車の走行台数/日(四半期別)

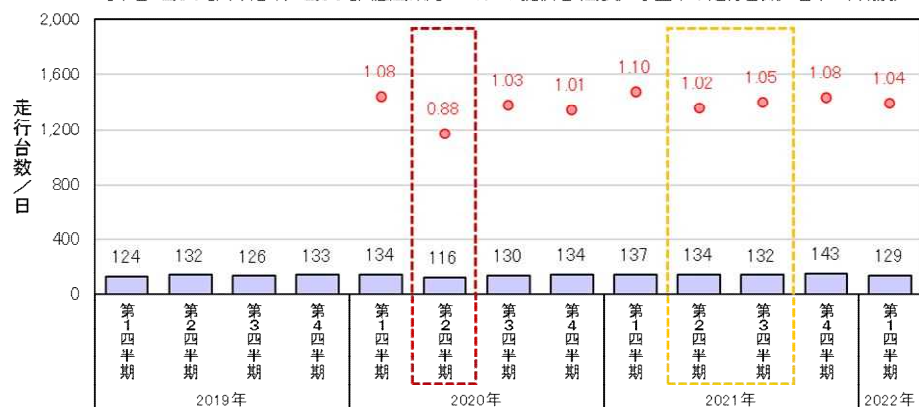


緊急事態宣言期間

まん延防止等重点措置期間

走行台数/日 増減率

【平日：島しょ部(今治市)ー島しょ部(広島県)】ETCカード提供者(島民)・小型車の走行台数/日(四半期別)

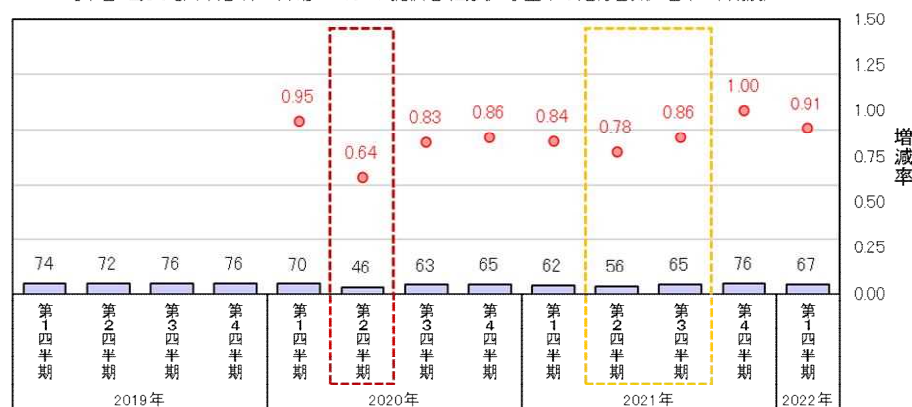


緊急事態宣言期間

まん延防止等重点措置期間

走行台数/日 増減率

【平日：島しょ部(今治市)ー本州】ETCカード提供者(島民)・小型車の走行台数/日(四半期別)



緊急事態宣言期間

まん延防止等重点措置期間

走行台数/日 増減率

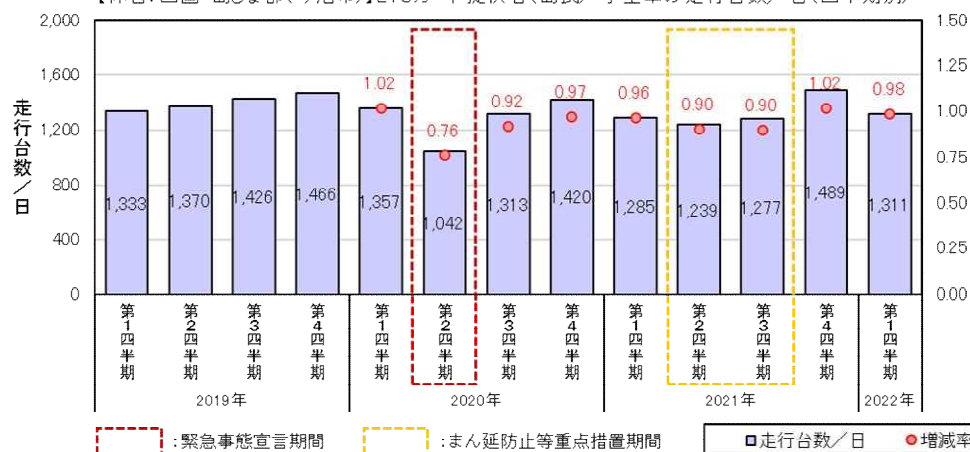
※増減率は、2019年同四半期の走行台数/日を基準に算出

3. 地域間交通量の推移 ※本四高速の交通量等データにより分析

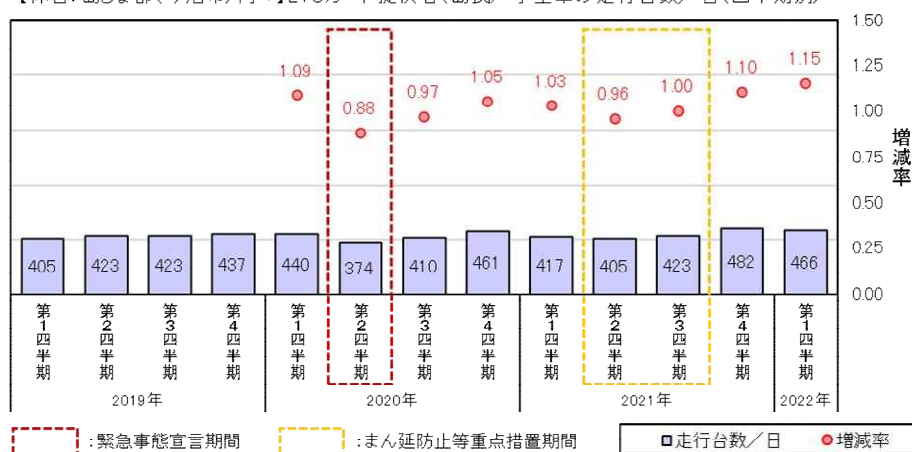
3.5 ETCカード提供者(島民)・小型車における地域間交通量(休日・四半期比較)

- ETCカード提供者(島民)・小型車の休日・四半期別の走行台数/日は、四国一島しょ部(今治市)間の交通が最も多く、約1,300台/日(1,042～1,489台/日)である。また、その他の地域間交通は、島しょ部(今治市)内々交通が約400台/日(374～482台/日)、島しょ部(今治市)－島しょ部(広島県)間が約150台/日(134～173台/日)、島しょ部(今治市)－本州間が約130台/日(79～175台/日)である。
- 「四国一島しょ部(今治市)」「島しょ部(今治市)内々」「島しょ部(今治市)－島しょ部(広島県)」「島しょ部(今治市)－本州」のいずれの地域間交通量においても、同様の傾向となる。
 - コロナ禍の影響で、2020年第2四半期に減少傾向となるも、2020年第3四半期以降に増加傾向に転じる。
 - 2021年第2四半期より減少傾向となるも、2021年第4四半期に再度増加傾向に転じる。
 - 2022年第1四半期は、再度減少傾向となる(島しょ部(今治市)内々交通のみ、増加傾向)。
- 「四国一島しょ部(今治市)」「島しょ部(今治市)内々」「島しょ部(今治市)－島しょ部(広島県)」の交通量は、2019年同四半期並みの走行台数/日まで回復している。一方、「島しょ部(今治市)－本州」の地域間交通量は、2019年同四半期並みの走行台数/日に至っていない。

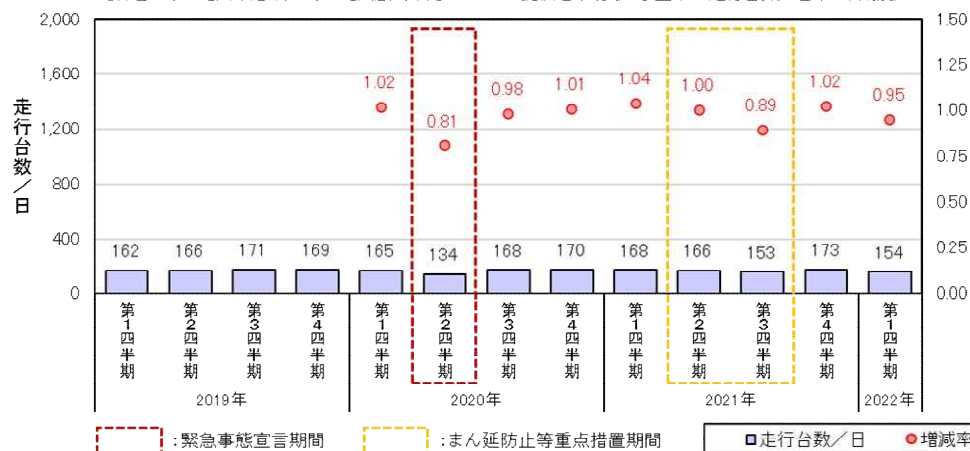
【休日：四国一島しょ部(今治市)】ETCカード提供者(島民)・小型車の走行台数/日(四半期別)



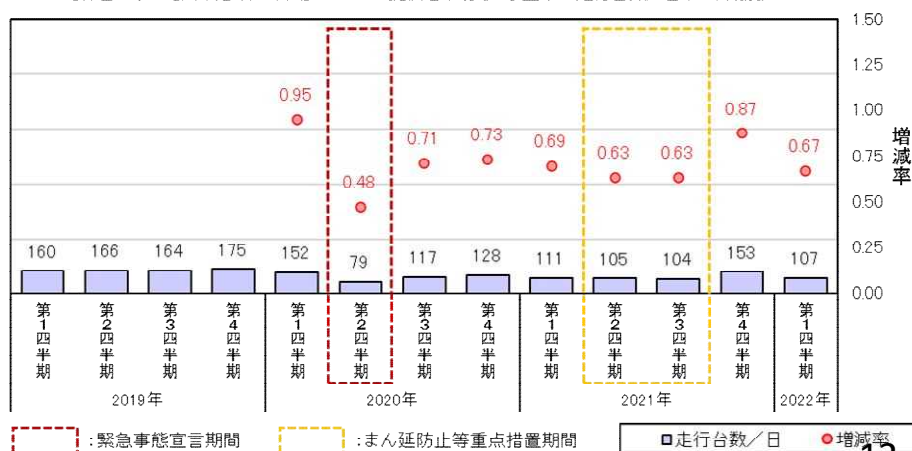
【休日：島しょ部(今治市)内々】ETCカード提供者(島民)・小型車の走行台数/日(四半期別)



【休日：島しょ部(今治市)－島しょ部(広島県)】ETCカード提供者(島民)・小型車の走行台数/日(四半期別)



【休日：島しょ部(今治市)－本州】ETCカード提供者(島民)・小型車の走行台数/日(四半期別)

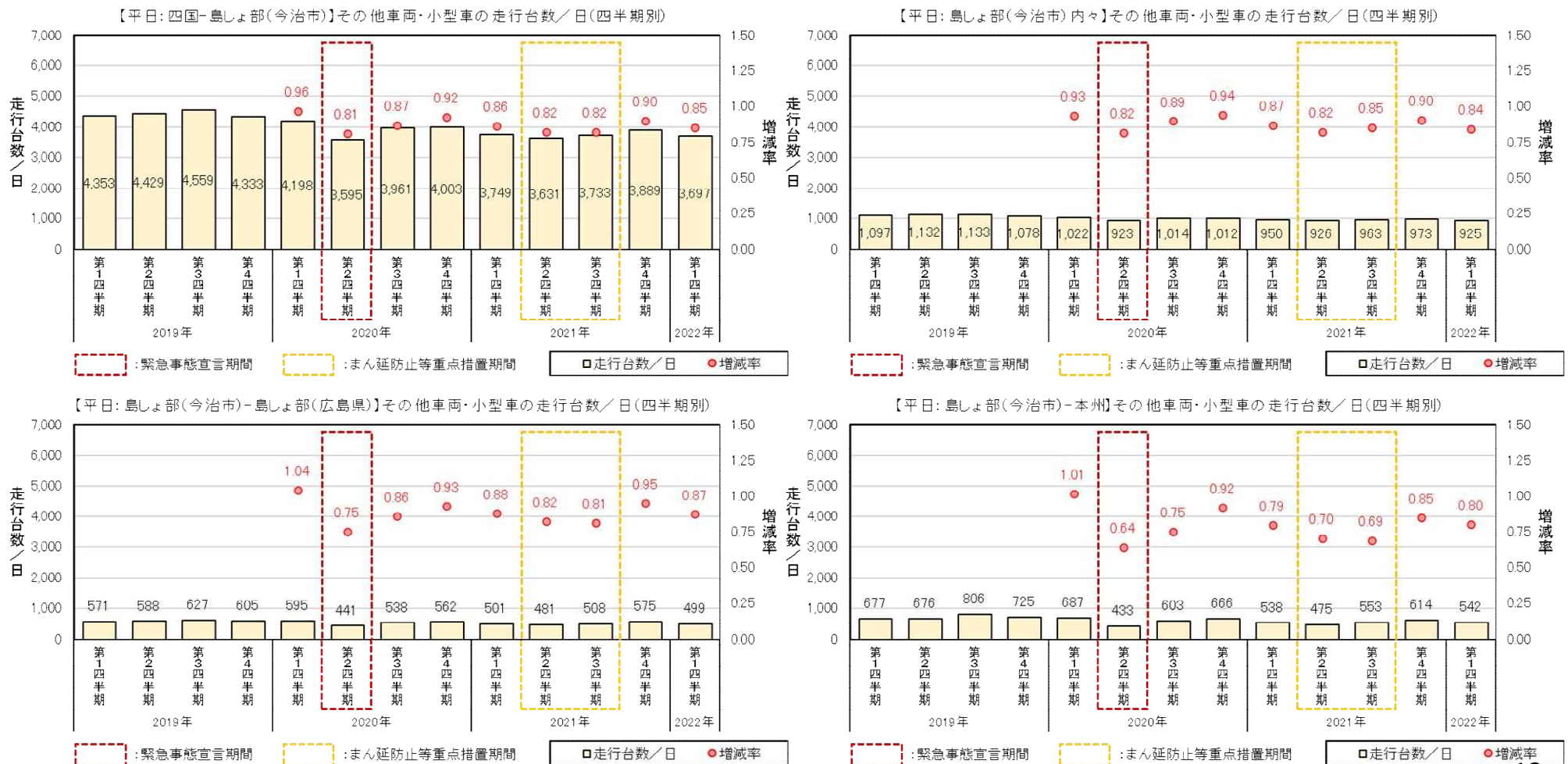


※増減率は、2019年同四半期の走行台数/日を基準に算出

3. 地域間交通量の推移 ※本四高速の交通量等データにより分析

3.6 その他車両・小型車における地域間交通量(平日・四半期比較)

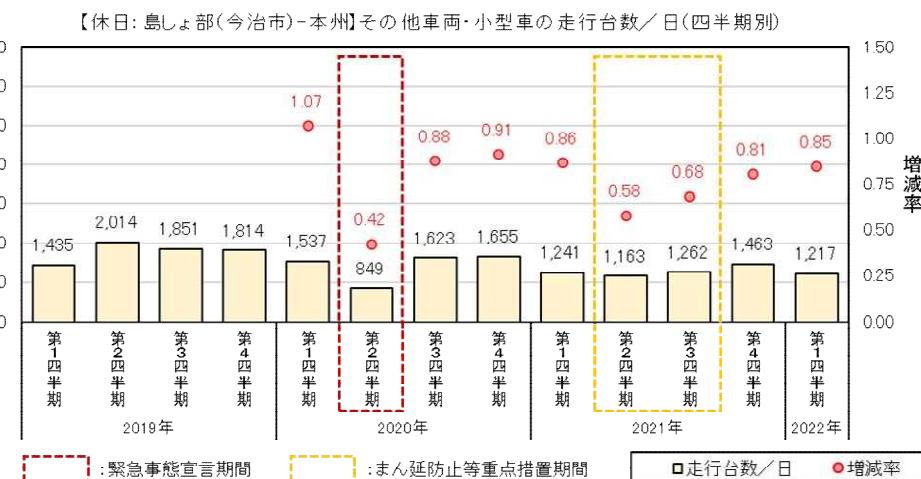
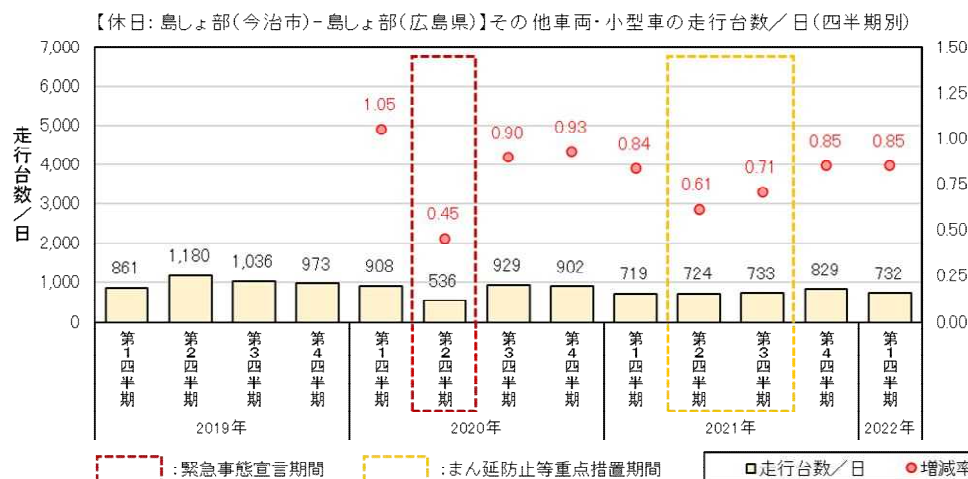
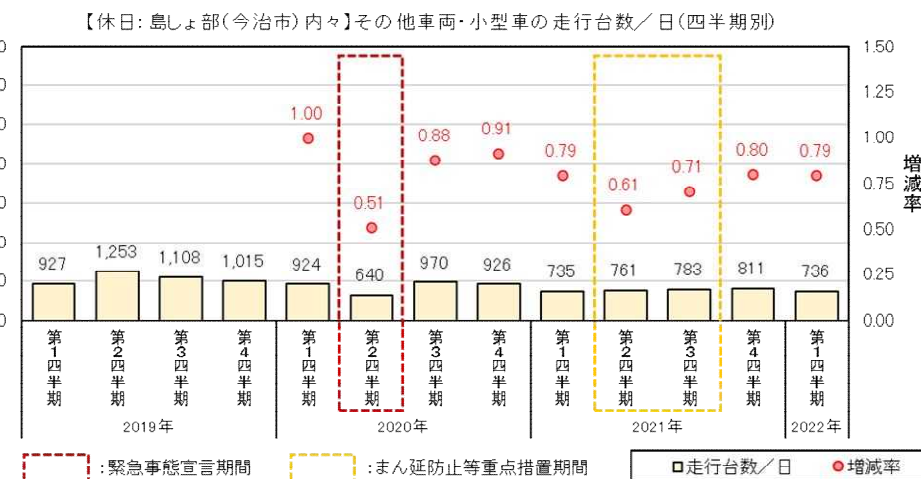
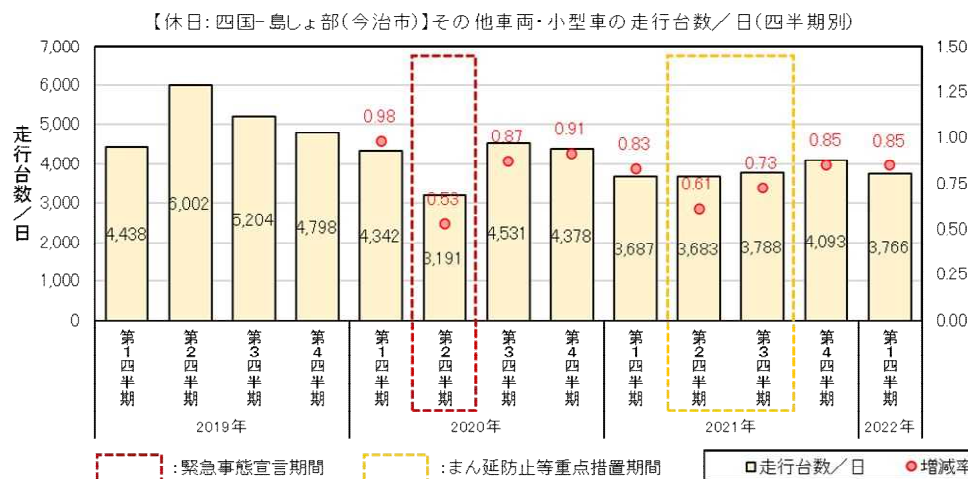
- その他車両・小型車の平日・四半期別の走行台数/日は、四国一島しょ部(今治市)間の交通が最も多く、約4,000台/日(3,595~4,559台/日)である。また、その他の地域間交通は、島しょ部(今治市)内々交通が約1,000台/日(923~1,133台/日)、島しょ部(今治市)ー島しょ部(広島県)間が約550台/日(441~627台/日)、島しょ部(今治市)ー本州間が約600台/日(433~806台/日)である。
- 「四国一島しょ部(今治市)」「島しょ部(今治市)内々」「島しょ部(今治市)ー島しょ部(広島県)」「島しょ部(今治市)ー本州」のいずれの地域間交通量においても、同様の傾向となる。
 - コロナ禍の影響で、2020年第2四半期に減少傾向となるも、2020年第3四半期以降に増加傾向に転じる。
 - 2021年第1四半期より減少傾向となるも、2021年第4四半期に再度増加傾向に転じる。
 - 2022年第1四半期は、再度減少傾向となる。
- いずれの地域間交通量も、2019年同四半期並みの走行台数/日に至っていない。



3. 地域間交通量の推移 ※本四高速の交通量等データにより分析

3.7 その他車両・小型車における地域間交通量(休日・四半期比較)

- その他車両・小型車の休日・四半期別の走行台数／日は、四国－島しょ部(今治市)間の交通が最も多く、約4,300台／日(3,191～6,002台／日)である。また、その他の地域間交通は、島しょ部(今治市)内々交通が約900台／日(640～1,253台／日)、島しょ部(今治市)－島しょ部(広島県)間が約850台／日(536～1,180台／日)、島しょ部(今治市)－本州間が約1,400台／日(849～2,014台／日)である。
- 「四国－島しょ部(今治市)」「島しょ部(今治市)内々」「島しょ部(今治市)－島しょ部(広島県)」「島しょ部(今治市)－本州」のいずれの地域間交通量においても、同様の傾向となる。
 - コロナ禍の影響で、2020年第2四半期に減少傾向となるも、2020年第3四半期以降に増加傾向に転じ、以降横ばい傾向となる。
 - 2021年第2四半期より減少傾向となるも、2021年第3四半期に再度増加傾向に転じる。
 - 2022年第1四半期は、横ばい傾向となる(島しょ部(今治市)－本州間交通のみ、増加傾向)。
- いずれの地域間交通量も、2019年同四半期並みの走行台数／日に至っていない。

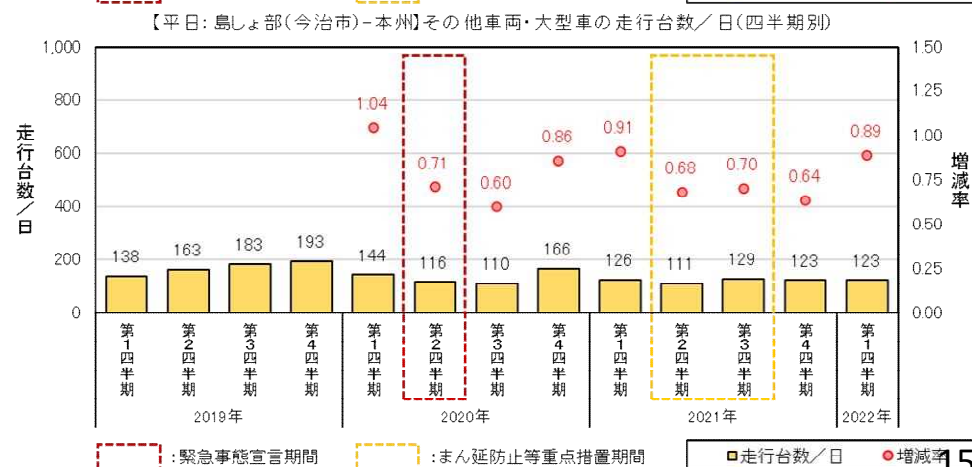
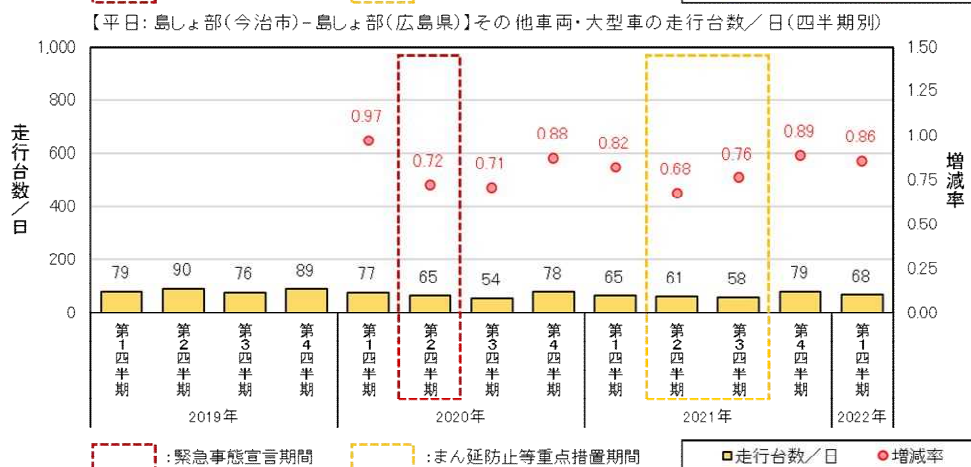
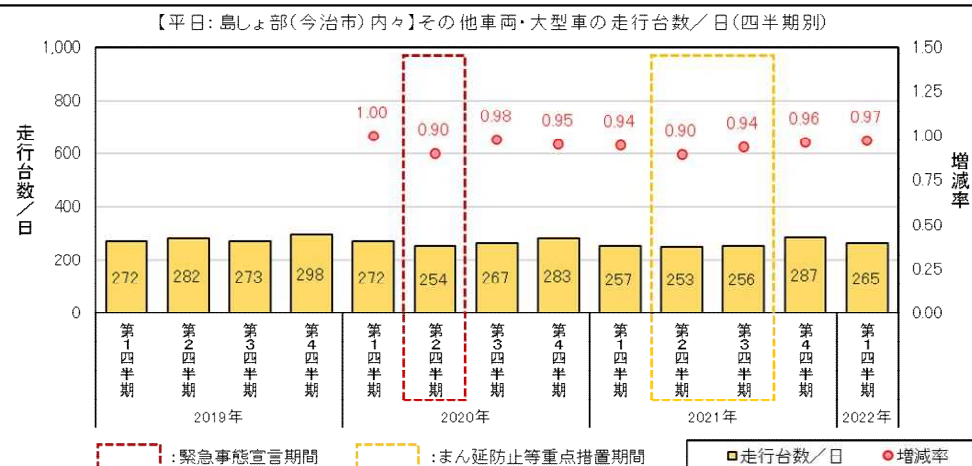
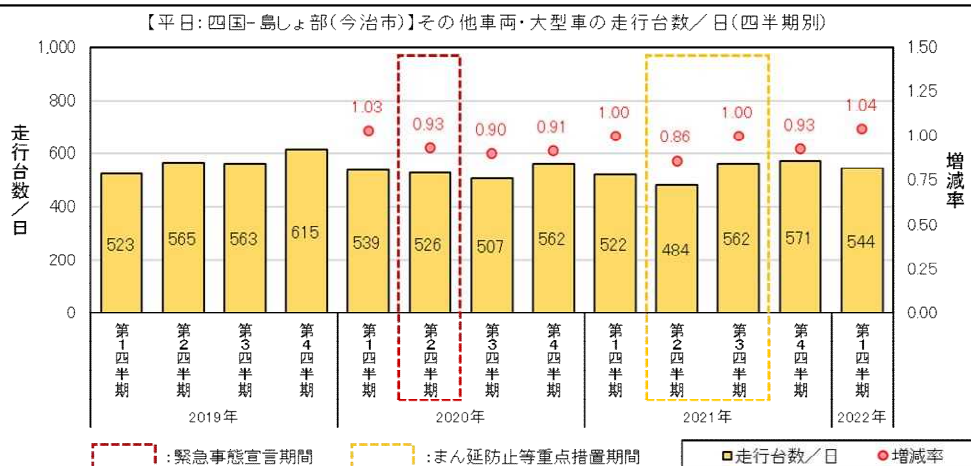


※増減率は、2019年同四半期の走行台数／日を基準に算出

3. 地域間交通量の推移 ※本四高速の交通量等データにより分析

3.8 その他車両・大型車における地域間交通量(平日・四半期比較)

- その他車両・大型車の平日・四半期別の走行台数／日は、四国－島しょ部(今治市)間の交通が最も多く、約550台／日(484～615台／日)である。また、その他の地域間交通は、島しょ部(今治市)内々交通が約250台／日(253～298台／日)、島しょ部(今治市)－島しょ部(広島県)間が約50台／日(54～90台／日)、島しょ部(今治市)－本州間が約140台／日(110～193台／日)である。
- 「四国－島しょ部(今治市)」「島しょ部(今治市)－島しょ部(広島県)」「島しょ部(今治市)－本州」の地域間交通量において、同様の傾向となる。
 - コロナ禍の影響で、2020年第2四半期より減少傾向となる。
 - 2020年第4四半期から2021年第1四半期にかけて、増加傾向に転じるも、2021年第2四半期に再度減少傾向となる。
 - その後、徐々に増加傾向に転じる。
- 「島しょ部(今治市)内々」の交通量は、コロナ禍の影響で、2020年第2四半期に減少傾向となるも、2020年第3四半期に増加傾向となる。その後、2021年第2四半期にかけて減少傾向となるも、2021年第3四半期より再度、増加傾向に転じる。
- 「四国－島しょ部(今治市)間の交通量は、2019年同四半期並みの走行台数／日まで回復している。一方、その他の地域間交通量は、2019年同四半期並みの走行台数／日に至っていない。

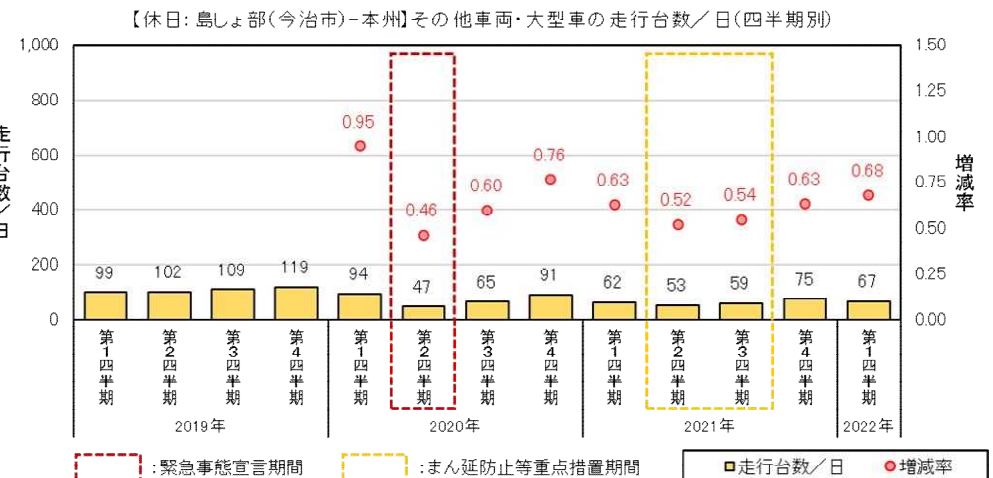
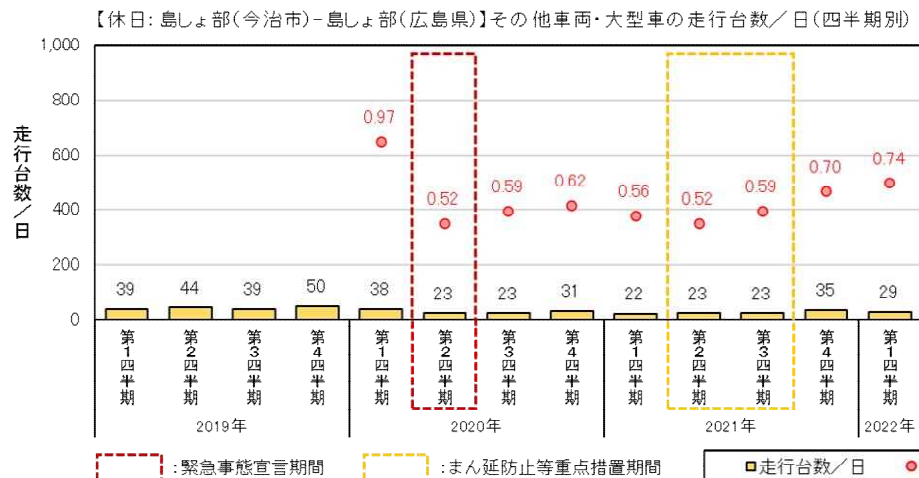
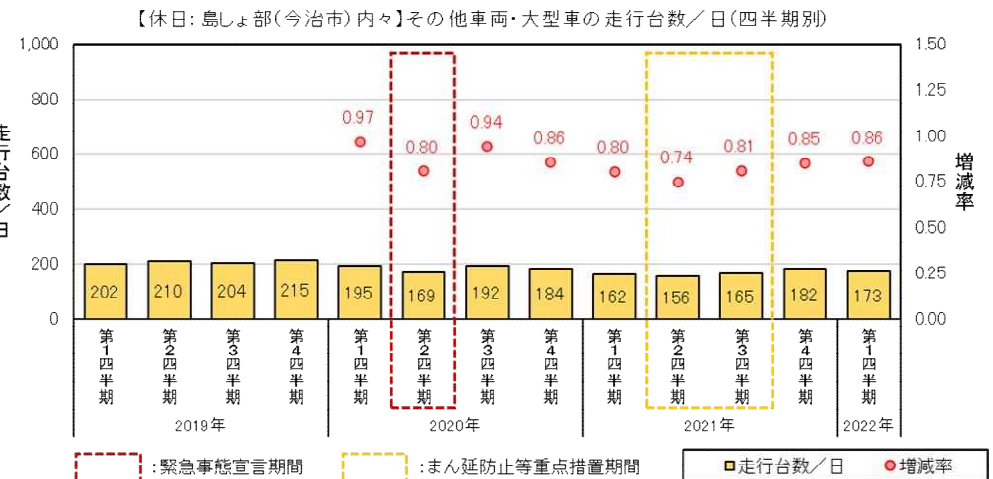
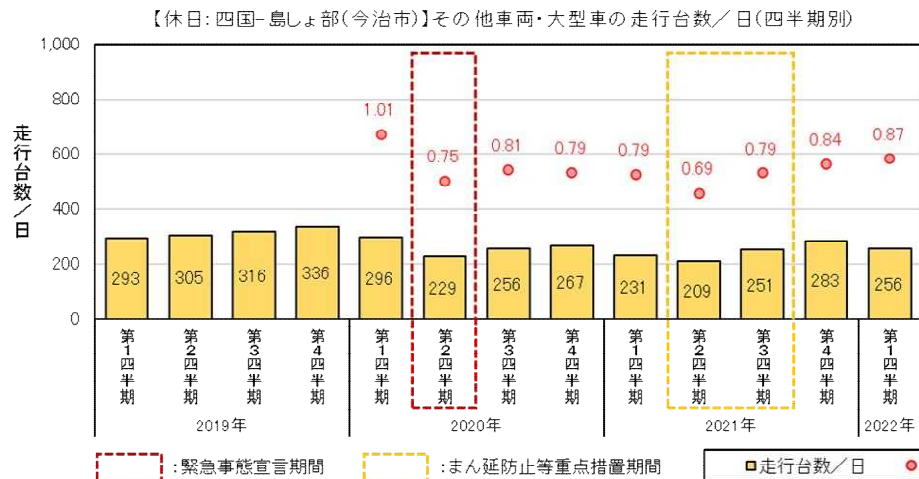


※増減率は、2019年同四半期の走行台数／日を基準に算出

3. 地域間交通量の推移 ※本四高速の交通量等データにより分析

3.9 その他車両・大型車における地域間交通量(休日・四半期比較)

- その他車両・大型車の休日・四半期別の走行台数／日は、四国－島しょ部(今治市)間の交通が最も多く、約250台／日(209～336台／日)である。
また、その他の地域間交通は、島しょ部(今治市)内々交通が約200台／日(156～215台／日)、島しょ部(今治市)－島しょ部(広島県)間が約30台／日(22～50台／日)、島しょ部(今治市)－本州間が約80台／日(47～119台／日)である。
- 「四国－島しょ部(今治市)」「島しょ部(今治市)内々」「島しょ部(今治市)－島しょ部(広島県)」「島しょ部(今治市)－本州」のいずれの地域間交通量においても、同様の傾向となる。
 ▶ コロナ禍の影響で、2020年第2四半期に減少傾向となるも、2020年第3四半期以降に増加傾向に転じる。
 ▶ 2020年第4四半期から2021年第1四半期にかけて、減少傾向となるも、2021年第3四半期に再度増加傾向に転じる。
- いずれの地域間交通量も、2019年同四半期並みの走行台数／日に至っていない。



※増減率は、2019年同四半期の走行台数／日を基準に算出

4. 利用回数・通行料金の推移 ※本四高速の交通量等データにより分析(ETCカード提供者のデータのみ)

4.1 分析概要

- ETCカード提供者(島民)の利用状況に関する交通量データ(月別世帯別利用回数・利用金額)をもとに、利用回数や通行料金を集計した。
- 利用回数や通行料金は、以下の流れで整理した。
 - 「利用回数」が1回以上のデータを対象とし、「世帯」「分析期間」で集約し、「利用月数」、「利用回数計」、「通行料金計」を計上。
 - 「利用回数計」、「通行料金計」を「利用月数」で除算し、「月あたり利用回数」、「月あたり通行料金」を計上。
 - 「月あたり利用回数」や「月あたり通行料金」をもとに度数分布表(世帯数)や構成比を整理。



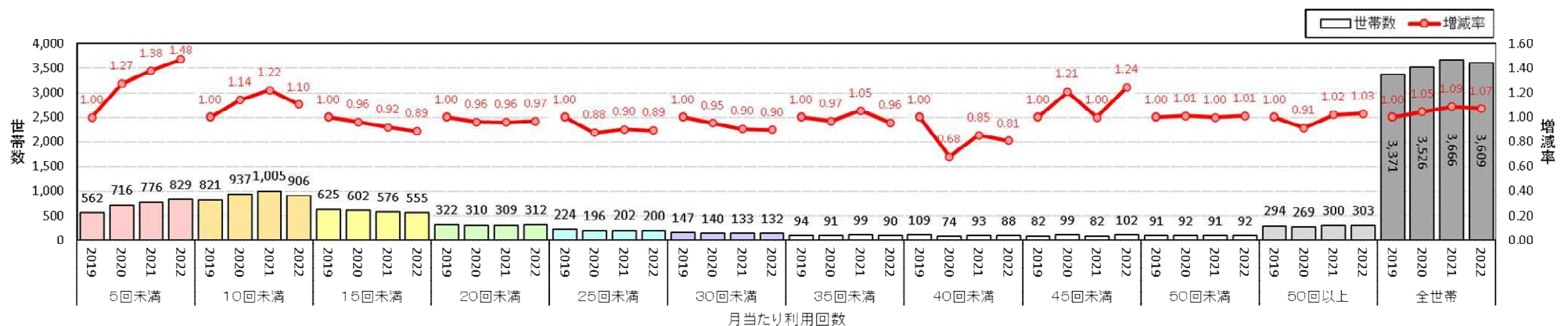
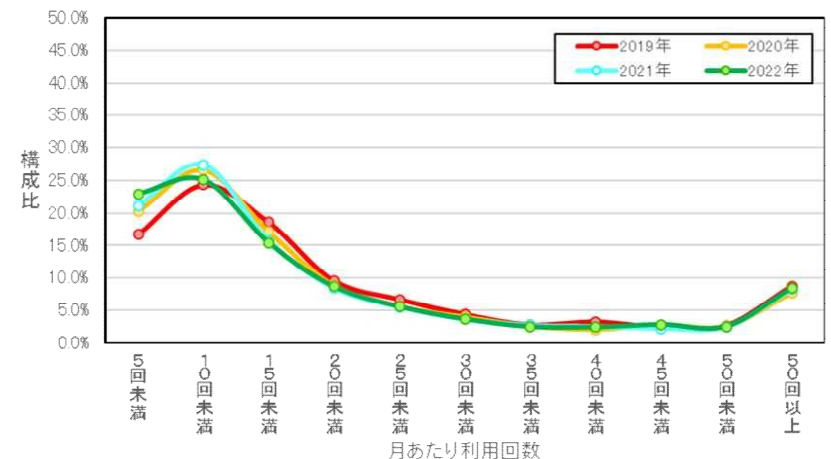
出典：国土地理院地図を元に作成

4. 利用回数・通行料金の推移 ※本四高速の交通量等データにより分析(ETCカード提供者のデータのみ)

4.2 月あたり利用回数の構成比(年比較)

- 月あたり利用回数の世帯構成比は、いずれの年においても5回以上10回未満の割合が最も高い。
- 世帯数の構成比より、世帯ごとの利用回数は減少(10回未満の割合が増加)傾向を示している。
 - 2019年は、10回未満の割合が41%程度。また、10回以上30回未満の割合が39%程度。
 - 2020年以降は、10回未満の割合が増加傾向(47%程度)。また、10回以上30回未満の割合が減少傾向(33%程度)。
- 本四高速を利用する世帯数が年々増加(3,371世帯⇒3,609世帯)している。
 - 10回未満 : 増加傾向
 - 10回以上30回未満 : 減少傾向
 - 30回以上 : 横ばい傾向(増減率は変化があるものの、増減する世帯数は多くない)。
- コロナ禍(2020年)の影響により、世帯ごとの利用回数は、減少傾向を示している。一方、本四高速を利用していなかった世帯が本四高速を利用しており、利用世帯数が増加傾向を示している。

月あたり 利用回数	世帯数				構成比			
	2019年	2020年	2021年	2022年	2019年	2020年	2021年	2022年
5回未満	562	716	776	829	16.7%	20.3%	21.2%	23.0%
10回未満	821	937	1,005	906	24.4%	26.6%	27.4%	25.1%
15回未満	625	602	576	555	18.5%	17.1%	15.7%	15.4%
20回未満	322	310	309	312	9.6%	8.8%	8.4%	8.6%
25回未満	224	196	202	200	6.6%	5.6%	5.5%	5.5%
30回未満	147	140	133	132	4.4%	4.0%	3.6%	3.7%
35回未満	94	91	99	90	2.8%	2.6%	2.7%	2.5%
40回未満	109	74	93	88	3.2%	2.1%	2.5%	2.4%
45回未満	82	99	82	102	2.4%	2.8%	2.2%	2.8%
50回未満	91	92	91	92	2.7%	2.6%	2.5%	2.5%
50回以上	294	269	300	303	8.7%	7.6%	8.2%	8.4%
全世帯	3,371	3,526	3,666	3,609				



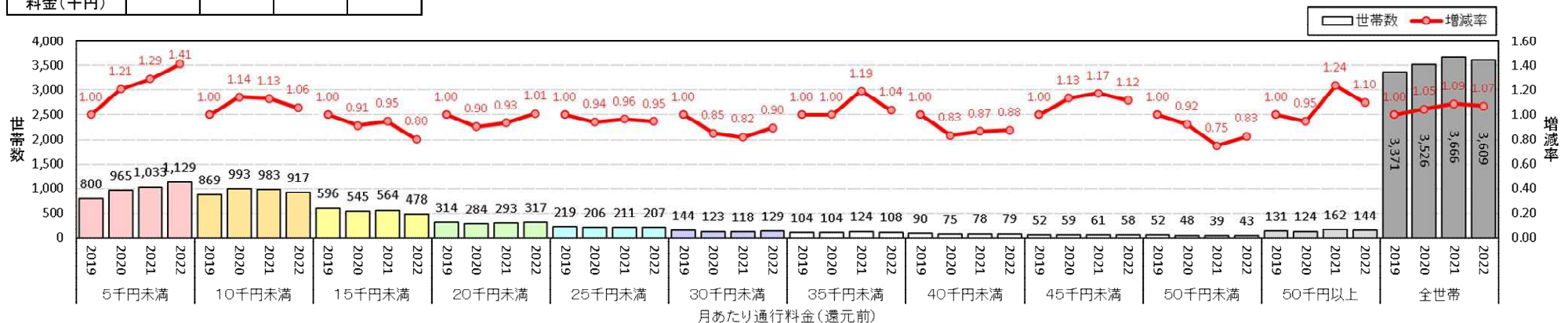
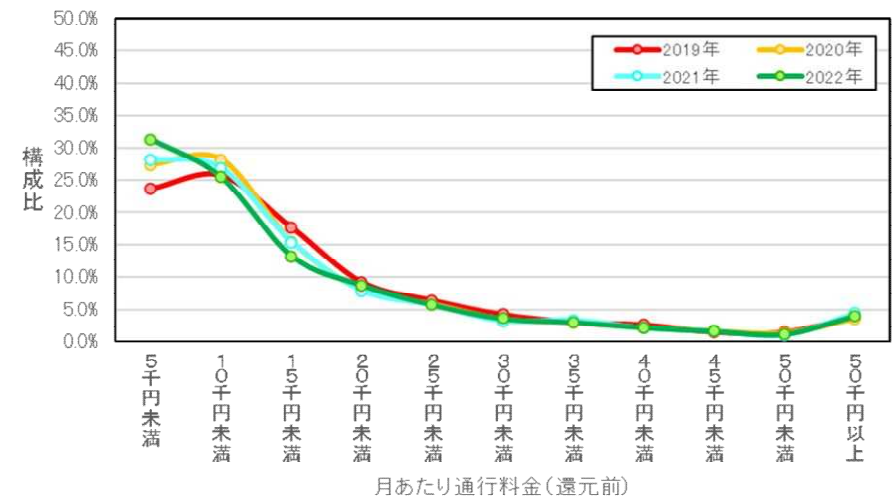
※増減率は、2019年の世帯数を基準に算出

4. 利用回数・通行料金の推移 ※本四高速の交通量等データにより分析(ETCカード提供者のデータのみ)

4.3 月あたり通行料金の構成比(年比較)

- 月あたり通行料金の世帯構成比は、10千円未満の割合が半数を占める。
 - 2019年、2020年は、5千円以上1万円未満の世帯割合が最も高い。
 - 2021年、2022年は、5千円未満の世帯割合が最も高い。
- 世帯数の構成比より、**世帯ごとの通行料金は減少(10千円未満の割合が増加)傾向**を示している。
 - 2019年は、1万円未満の割合が50%程度。また、1万円以上3万円未満の割合が37%程度。
 - 2020年以降は、1万円未満の割合が増加傾向(55%程度)。また、1万円以上3万円未満の割合が減少傾向(32%程度)
- 月あたり通行料金計を全世帯で除算した**世帯あたり通行料金**は、**1万4千円**程度。

月あたり 通行料金 (還元前)	世帯数				構成比			
	2019年	2020年	2021年	2022年	2019年	2020年	2021年	2022年
5千円未満	800	965	1,033	1,129	23.7%	27.4%	28.2%	31.3%
10千円未満	869	993	983	917	25.8%	28.2%	26.8%	25.4%
15千円未満	596	545	564	478	17.7%	15.5%	15.4%	13.2%
20千円未満	314	284	293	317	9.3%	8.1%	8.0%	8.8%
25千円未満	219	206	211	207	6.5%	5.8%	5.8%	5.7%
30千円未満	144	123	118	129	4.3%	3.5%	3.2%	3.6%
35千円未満	104	104	124	108	3.1%	2.9%	3.4%	3.0%
40千円未満	90	75	78	79	2.7%	2.1%	2.1%	2.2%
45千円未満	52	59	61	58	1.5%	1.7%	1.7%	1.6%
50千円未満	52	48	39	43	1.5%	1.4%	1.1%	1.2%
50千円以上	131	124	162	144	3.9%	3.5%	4.4%	4.0%
全世帯	3,371	3,526	3,666	3,609				
月あたり通行 料金計(千円)	50,279	48,778	52,380	49,850				
世帯あたり通行 料金(千円)	14.9	13.8	14.3	13.8				



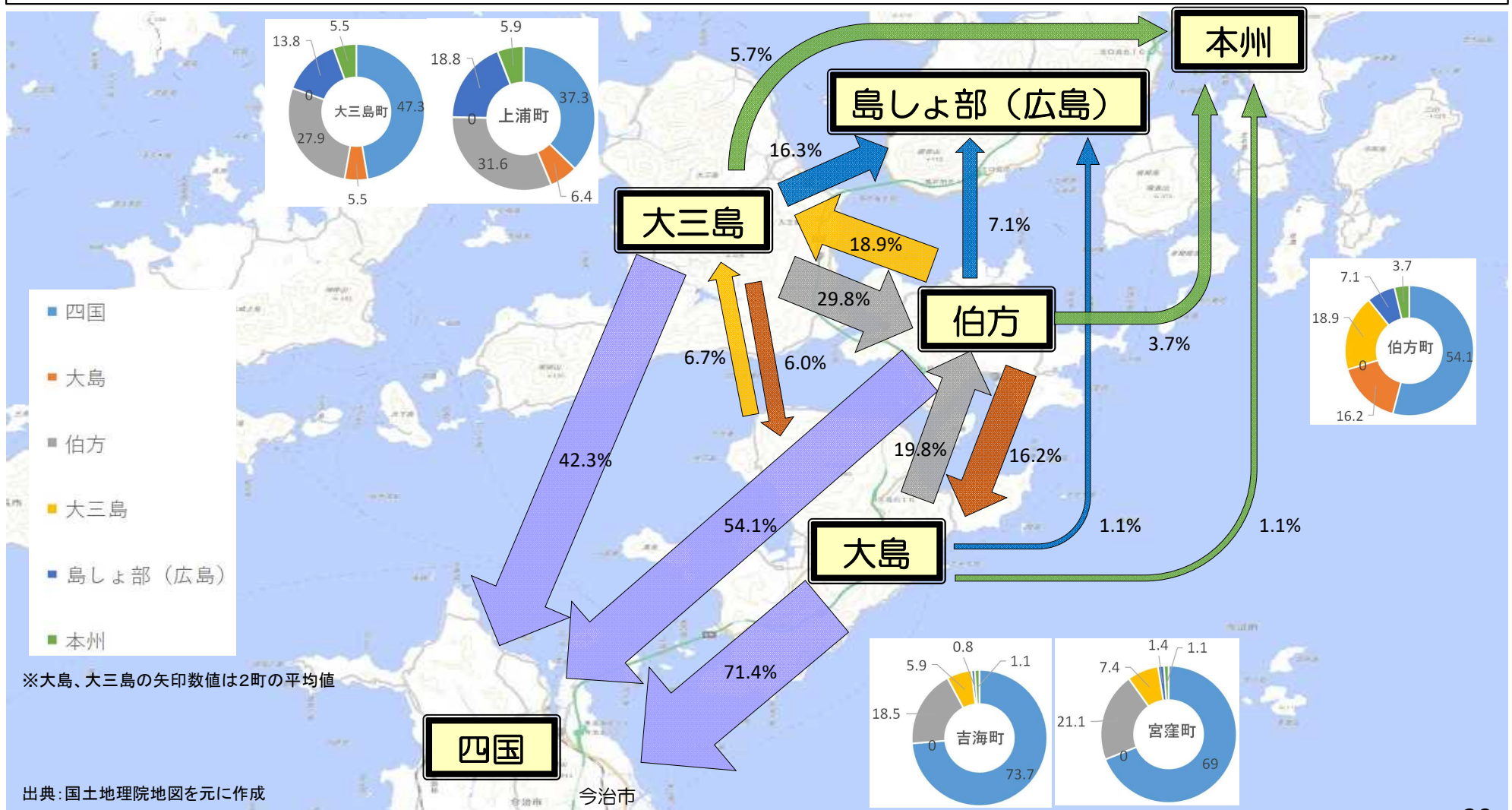
※通行料金は、通行料金(還元前)を採用

※増減率は、2019年の世帯数を基準に算出

5. 滞在回数・滞在時間・滞在場所の推移 ※本四高速の交通量等データにより分析(ETCカード提供者のデータのみ)

5.1 各町ごとの滞在先割合(平日・3ヶ年平均)

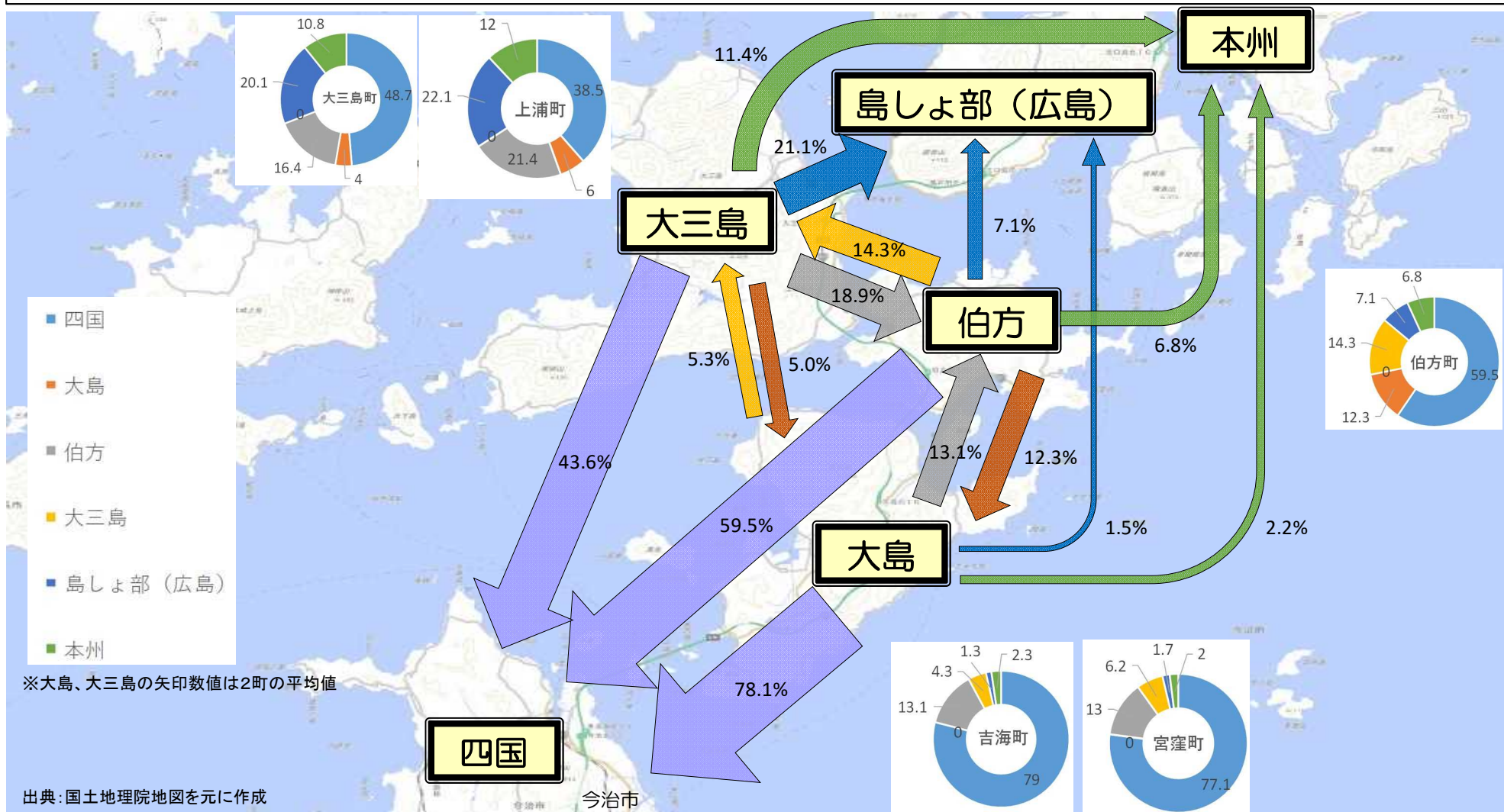
- 島民別に抽出された滞在先に関する交通量データをもとに、以下の内容を踏まえて、町ごとの平日の滞在先車両数(日あたり車両台数)を集計し、町ごとの平日の滞在先の傾向(滞在先割合%)を確認した。
 - 対 象 : 滞在日数が2日未満で居住地を除いた滞在データ(全体の97.9%)を集計対象とする。
- 各町ともに四国への滞在(行き先)割合が最も多いが、その割合は四国からの距離に応じて減少している。
 - 【四国】→【大島】吉海町73.7%、宮窪町69.0% →【伯方】伯方町54.1% →【大三島】大三島町47.3%、上浦町37.3%
- 島しょ部間の移動は約2割～4割で、伯方への滞在(行き先)割合が多い。大三島では島しょ部(広島)への滞在(行き先)割合が他の町と比べて多い。



5. 滞在回数・滞在時間・滞在場所の推移 ※本四高速の交通量等データにより分析(ETCカード提供者のデータのみ)

5.2 各町ごとの滞在先割合(休日・3ヶ年平均)

- 島民別に抽出された滞在先場所に関する交通量データをもとに、以下の内容を踏まえて、町ごとの平日の滞在先車両数(日あたり車両台数)を集計し、町ごとの平日の滞在先の傾向(滞在先割合%)を確認した。
 - 対 象 : 滞在日数が2日未満で居住地を除いた滞在データ(全体の97.9%)を集計対象とする。
- 各町ともに四国への滞在(行き先)割合が最も多いが、その割合は四国からの距離に応じて減少している。
 - 【四国】→【大島】吉海町79.0%、宮窪町77.1% →【伯方】伯方町59.5% →【大三島】大三島町48.7%、上浦町38.5%
- 島しょ部間の移動は約2割～3割で、伯方への滞在(行き先)割合が多いが、大三島では島しょ部(広島)への滞在(行き先)割合の方が多い。
- 四国、島しょ部(広島)、本州への滞在(行き先)割合が平日より多い。



6. まとめ

(1)人口・世帯数 ※今治市の統計データにより分析

- 島民の人口、世帯数ともに減少傾向を示している。

(2)地域間交通量 ※本四高速の交通量等データにより分析

- ETCカード提供者(島民)・小型車の走行台数／日の推移は、コロナ禍であったにもかかわらず、**増加傾向**を示している。
- その他車両・小型車の走行台数／日の推移は、コロナ禍の影響により、**減少傾向**を示している。
- 地域間交通量は、平日・休日ともに「四国ー島しょ部(今治市)」の交通が最も多い。

(3)利用回数 ※本四高速の交通量等データにより分析(ETCカード提供者のデータのみ)

- 月あたり利用回数の世帯構成比は、**10回未満(週1回程度)の利用が全体の約半数、20回未満の利用(週2回程度)が全体の約7割**を占める。
- 世帯数の構成比より、世帯ごとの利用回数は減少(10回未満の割合が増加)傾向を示している。
- 本四高速を利用する世帯数が年々増加(3,371世帯⇒3,609世帯)している。

(4)通行料金 ※本四高速の交通量等データにより分析(ETCカード提供者のデータのみ)

- 月あたり通行料金の世帯構成比は、**10千円未満で約半数、月20千円未満で全体の約8割、月25千円未満で全体の約9割**を占める。
- 世帯数の構成比より、世帯ごとの通行料金は減少(10千円未満の割合が増加)傾向を示している。
- 月あたり通行料金計を全世帯で除算した**世帯あたり通行料金の平均は、1万4千円程度**。

(5)滞在車両数・滞在時間・滞在场所 ※本四高速の交通量等データにより分析(ETCカード提供者のデータのみ)

- 今治市島しょ部3島間の移動は全体の約2割～4割を占め、中でも**伯方への滞在(行き先)割合が多い**。
- 今治市島しょ部3島間の移動を除いた滞在(行き先)場所は、3島ともに「島しょ部(広島)・本州」より「**四国**」への**滞在(行き先)が圧倒的に多い**。
- 四国への滞在(行き先)割合は四国からの距離に応じて減少している。
- 大三島では島しょ部(広島)への滞在(行き先)割合が他の町と比べて多い。
- 休日より平日の方が島しょ部間の移動割合が多い。(⇔休日の方が遠方への移動が多い)

(6)考察

- ETCカード提供者(島民)においては、コロナ禍にもかかわらず平日の走行台数が増加傾向を示していることから、**しまなみ海道はなくてはならない「唯一の生活道路」**であると考えられる。
- ETCカード提供者(島民)のしまなみ海道の利用は、**ほとんどの世帯が週1回～2回程度の利用**であり、四国への滞在(行き先)割合が最も多いことから、島しょ部内で完結できないことは**今治市陸地部に依存**していると推測される。
- ETCカード提供者(島民)の島しょ部3島間の移動は全体の2割～4割であり、伯方への滞在(行き先)が多いことから、**島しょ部圏域においては伯方を中心とした生活圏が形成**されていることが推測される。

7. 資料

(1) しまなみ海道沿線地域の比較(今治市、尾道市)

			四国 ← 今治市			尾道市 → 本州		
			大島	伯方	大三島	生口島	因島	向島
	面積	41.9 km2	20.84 km2	64.54 km2	31.21 km2	39.76 km2	22.22 km2	
		127.3 km2			93.2 km2			
	人口 R4.10.31現在	5,419 人	5,785 人	5,002 人	7,606 人	21,449 人	21,678 人	
16,206 人			50,733 人					
市内陸地部までの距離	7.3 km	17.9 km	24.7 km	18.0 km	13.3 km	6.6 km		
市内陸地部までの通行料金（片道） （ 今治側各IC → 今治北IC 尾道側各IC → 西瀬戸尾道IC ） ※尾道大橋利用の場合、向島⇄尾道IC間は無料	平日	軽自	760 円	1,110 円	1,300 円	760 円	580 円	260 円
		普通	900 円	1,300 円	1,540 円	910 円	690 円	310 円
	休日	軽自	680 円	890 円	1,050 円	520 円	370 円	130 円
		普通	840 円	1,100 円	1,290 円	630 円	470 円	160 円
↓ ↓								
市内陸地部まで週1回の利用 片道料金×往復×週1回×4週（月）	平日	軽自	6,080 円	8,880 円	10,400 円	6,080 円	4,640 円	2,080 円
普通		7,200 円	10,400 円	12,320 円	7,280 円	5,520 円	2,480 円	
市内陸地部まで週2回の利用 片道料金×往復×週2回×4週（月）	平日	軽自	12,160 円	17,760 円	20,800 円	12,160 円	9,280 円	4,160 円
普通		14,400 円	20,800 円	24,640 円	14,560 円	11,040 円	4,960 円	

(2) しまなみ海道通行料金の負担軽減に向けて、今治市が行っている各種支援事業

● しまなみの子どもを育む交通費支援事業【令和4年度予算 15,000千円】

□ 保健医療

- 島しょ部全ての世帯を対象
- 妊産婦・乳幼児の対象となる受診及び事業、不妊症・不育症の受診、小学生以下の救急受診(休日・夜間)について、各項目ごとに上限回数等を設けて交通費を助成

□ 子ども世帯

- 島しょ部全ての世帯を対象
- 18歳以下の子どもがいる世帯を対象の交通費を1/2程度(上限1万円)を助成

● 燃料費高騰対応しまなみ暮らし支援事業(※令和4年度のみ)【令和4年度予算 90,000千円】

- 島しょ部全ての世帯を対象
- しまなみ海道通行料の負担に加え、燃料費高騰により負担を強いられている島しょ部世帯に対し、アンケートに回答した世帯に生活支援のための燃料クーポン(1世帯1万円)を配布